

「職場環境改善提言
①期待される職種
②新技術・新工法
③職場環境の改善
心して働ける雇用条
件立上の視点でまご
した。「業界横断的
ームページの構築
予会を開催し、情
況の場を作って連帯
強める」「男性用
手サイズダウンす
るなく、安全性も考
念性用作業着を留意
現場には女性用ト
レ更衣室を常態化
「犯ブザーも常備す
る」、職場環境改善
した具体的な取り組
が盛り込まれた。

明会 り替え

活発に意見を出し
意見を交わすよう
したい」と呼び掛
同課の後藤剛補佐
梁塗装の塗り替え



後藤補佐



活発な意見交換が行われた

を進める中で、有害物質
が含まれた塗膜の撤去
が出てくる。県としても
湿式塗膜剥離工法を採用
するとしている。この
2月に改定した要領案を
出させていた。きょうは説明というより
は意見交換をした」と
あいさつした。
県では、管理する約2
700橋(うち鋼橋約7
00橋)を対象に長寿命
化を進めており、今後1
年あたり約30橋で塗り替
え塗装を実施していく。
ただ、橋梁に塗装された
塗料の中には、鉛やPC
B、六価クロムなどの有

害物質が含まれているもの
も多く、2014年5月
30日付で厚生労働省が塗
装時の作業員や周辺環境
への配慮を求める通知を
出している。
そうしたことを背景
に、塗膜調査や分析実施

時期、試料採取、分析項
目などについて説明が行
われた。参加者からは活
発な意見が飛び交うな
わせた。

製品の実績を確認 防草ブロック研修会開催

群馬防草ブロック
工業会(富沢茂隆会長)
は17日、前橋市閩屋町地
内の前橋閩屋センターで
研修会を開催した。平日
にもかかわらず約30人の
会員が駆け付けた。



富沢会長

冒頭、堀正明副会長は
類似品が出回っているこ
とを今後の課題とし「新
年度を迎えるにあたっ
て、われわれの防草ブ
ロックの技術を見直し
本日の研修会や実験ア
ーなどを基に、さらなる
営業活動に取り組んでほ
しい。防草という名前を
広げていきたい」と力強
く述べた。



堀副会長

事務局からは、全国防
草ブロック工業会が名古
屋大学生物機能開発利用
研究センターの北野英己
教授の共同開発した防草
ブロックが愛知県愛知
環境賞の銅賞を受賞した
報告などが行われた。受
除草工事費の削減、施工
上の支障の有無を確認す
る実験データの解説など

も行われた。
富沢会長は「雑草の自
然の摂理を利用して防草
効果を奏する機能は当技
術のみと証明された。わ
れわれの技術はV字型。
学術的にも実証されたも
の。これからも実績を積
み上げ、お客様の信頼と
道路環境の維持に貢献し
ていく」と来年度への意
気込みを述べた。



スクリーンを使った研修会の様子

新年度に計画策定

公共施設の総合管理で

桐生市

桐生市は新年度、公共
施設等総合管理計画を策
定する。2016年度当
初予算には、同計画策定
とそれに伴う固定資産台
帳作成の委託費1183
万7000円を盛り込ん
でいる。また、これに関
する立地適正化計画も
18年度までにまとめてい
く。
同計画は、15年度から
作成しており、公共建築

物のほか、道路や上下水
道施設を含めた施設の長
期的な施設管理の方針を
示すことになる。
市は、公共建築物の現
状をすでに把握。他市と
比較しても施設整備が行
き届いていることから、
今後は施設数を増やさず
財政負担を軽くするよう
なあり方を目指してい
く。同市では、学校給食
中央共同調理場の建て替
え(仮称)総合教育セ
ンターの設置や図書館の
改築などが課題となっ
ている。
また、立地適正化計画
では、コンパクトにまと
まった都市を整備するた
い。め、公共施設の整備場所
を考慮しつつ、医療・福
祉施設、商業施設や住居
などの民間施設も緩やか
に誘導していくことにな
る。同計画策定のため、
18年度までに1300万
円の事業費を見積もり、
将来の都市像を検討して
いく。